

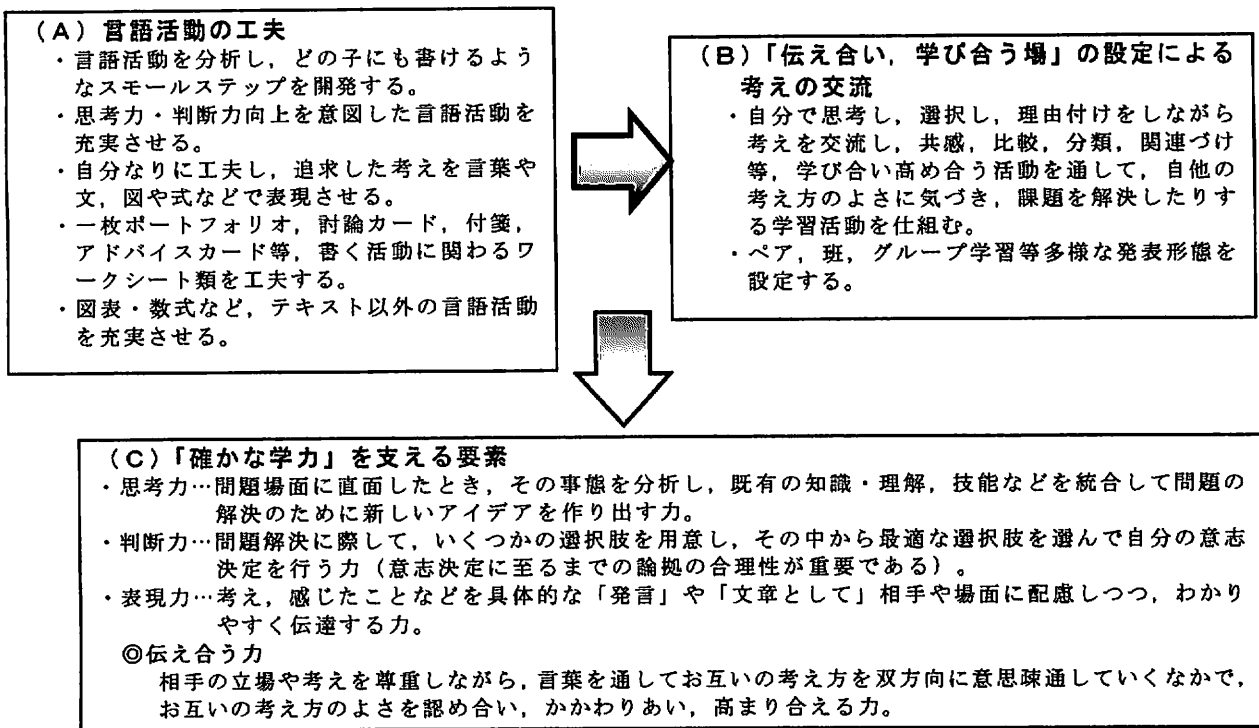
「確かな学力」を育てる学習活動の研究

～言語活動を取り入れ、「伝え合う力」を育む指導の工夫～

I 研究の内容

1 研究仮説

学習活動において、言語活動を取り入れ、「伝え合い、学び合う場」の中で交流すれば、思考力・判断力・表現力が育まれ、伝え合う力が高まるであろう。



2 研究の内容と方法

- (1) 児童の実態調査や指導法の工夫など理論研究や実践研究
- (2) 授業研究（研究の成果を実証するために、7回の検証授業を行なう）
- (3) 「1人1実践」の公開授業
- (4) 特別支援教育の学習会
- (5) 今日的教育課題関連の学習会（外国語活動、環境教育）

II 成果と課題

1 成果

- (1) 新学習指導要領を意識した授業実践に全研究同人が取り組み、教師の意識として「伝え合う」ことの日常化が図られた。
- (2) いろいろな学年で様々な授業に様々な言語活動の方法・工夫を取り入れた。伝え合う力を育むためのいろいろなアプローチが可能であることが分かった。
- (3) 子どものさまざまな活動で言語活動により習得されたものが現れている。どの学年の子どもも書く力や伝え合う力が身に付いた。

- (4) 低中高学年のブロックの研究の深まりと、特別支援学級の研究も加わり、それぞれの発達段階や実態をふまえた研究が深められてよかった。
- (5) お互いの実践を客観的に分析する機会があり、課題や改善点が具体的に示されて良かった。
- (6) 小グループでのKJ法による授業分析は、教師自身の「伝え合う」「交流する」学びの場となった。毎回楽しく参加できる研究会の方法だと感じた。
- (7) 一人1実践も各人の意識が高まり、よかった。

2 課題

- (1) テーマ、サブテーマで研究する内容をはっきり見えるものにしていったほうがいい。
1年間の校内研究には多くの時間はないので、テーマがもう少し具体的だったら、研究しやすくなると思う。
- (2) 話し合い活動をいかに充実させていくか。
- (3) 個々には言語活動の習得が不十分な子どももいる。遅れがちな子どもに、いかに個別に言語活動を身に付けさせていくか。

III 成果物

1 全体／部会研究授業指導案（ワークシート等も含む）

(1) 低学年部会

- ア 1年 特別活動(学級活動)「名前について考えよう」 廣瀬 剛教諭
- イ 2年 国語(読むこと)「お手紙」 日原香織教諭

(2) 中学年部会

- ア 3年 社会 「見直そう わたしたちの暮らし」 向山 潤教諭
- イ 4年 道徳(公正公平に判断し、友情について考える)
「紙ひこうき大会」 山宮由紀教諭

(3) 高学年部会

- ア 5年 国語 「伝え合って考えよう」 野沢浩一教諭
- イ 6年 算数 「比べ方を考えよう」 日原英二教諭

(4) 特別支援部会

けやき1組2組 生活単元「発表会をしよう」矢崎三枝子・那口真知子教諭

2 授業公開指導案（一人一実践）

- ・ 1年 国語 くじらぐも 渡邊祥子教諭
- ・ 2年 国語 お話いっぱい こんなお話を考えた 山縣重人教諭
- ・ 2年 国語 今週のニュース 竹川きよみ先生
- ・ 3年 国語 このお話、本当？(読書指導・アニメーション) 保坂千恵子教諭
- ・ 3年 図工 広がれ生き物ワールド 小川真知子教諭
- ・ 3年 理科 こん虫を調べよう 雨宮義仁教諭
- ・ 4年 道徳 なぜ、あいさつをするのか 小林光三教諭
- ・ 4年 音楽 わらべうた風のふしをつくってみよう 藤原和美教諭
- ・ 5年 社会 世界とつながる自動車 植原 彰教諭
- ・ 5年 算数 タングラムで遊ぼう 佐々木晃教諭
- ・ 6年 国語 短歌を味わおう 的場泰子教諭
- ・ 6年 国語 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう 窪川純一朗教諭
- ・ たんぽぽ学級 自立活動 身体を動かそう 相澤京子教諭